

～建設現場の生産性向上に係る優れた取り組みを表彰～

あい こんすとらくしよん  
「i-Construction大賞」授与式に中部地方で唯一、優秀賞の(株)新井組が参加

1. 概要 : 国土交通省では、建設現場の生産性向上に係る優れた取組を表彰するため、「あい こんすとらくしよんi-Construction大賞」を創設し、優秀賞10団体の1つに、中部地方整備局管内では唯一、飛騨地域の(株)あらいくみ新井組が選ばれました。
- 平成30年2月15日に国土交通本省にて、授与式が開催されます。その後、中部地方整備局長へ受賞報告が行われる予定です。

あい こんすとらくしよん  
☆i-Construction大賞とは・・・

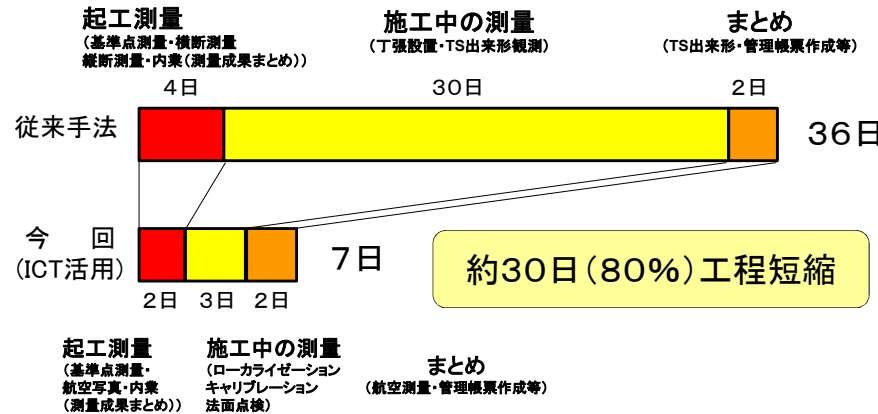
建設現場の生産性向上(i-Construction)に係る優れた取組を表彰し、ベストプラクティスとして広く紹介することにより、i-Constructionに係る取組を推進することを目的に今年度、創設したものです。

2. 表彰団体名 : 【優秀賞】「(株)あらいくみ新井組」平成27年度中部縦貫丹生川西部地区道路工事
3. 授与式及び : 平成30年2月15日 国土交通本省  
場所
4. 添付資料 : あい こんすとらくしよんi-Construction大賞工事 別紙1
5. 解禁指定 : なし
6. 配布先 : 高山記者クラブ  
中部地方整備局記者クラブ
7. 問合せ先 : 国土交通省 中部地方整備局 高山国道事務所  
副所長 : 奥田 学 (おくだ まなぶ)  
工務課長 : 堀本 広男 (ほりもと ひろお)  
TEL 0577-36-3821  
FAX 0577-36-3801  
URL <http://www.cbr.mlit.go.jp/takayama/>



# (株)新井組 平成27年度中部縦貫丹生川西部地区道路建設工事

## ●UAV測量による作業効率向上を検証



## ●MC、従来型バックホウの作業分担の設定



## ●ICT建機のバケット位置精度確認に対する自社規定の設定

**バケット位置精度確認 自社規定**

- ・確認回数  
1回 → 2回 (AM・PM)
- ・規格値  
±50mm → ±30mm



## ●i-Construction 普及促進への取組み



## 【工事概要】

工事延長 L=400m  
 切土29,000m<sup>3</sup>  
 路体盛土5,000m<sup>3</sup>  
 路床盛土3,900m<sup>3</sup>  
 法面整形(切土)3,310m<sup>2</sup>  
 法面整形(盛土)1,930m<sup>2</sup>

○従来型バックホウで概ねの形状を施工し、ICTバックホウで正確さを要する仕上げと法面整形を施工することで、ICTバックホウの現場稼働期間を最適化し、コストを低減しつつ、総掘削作業期間の短縮を図った。

○日々のバケット位置精度の確認について、確認回数を「1回」から「2回」へ、規格値を「±50mm」から「±30mm」へ、とする自社規定を設けることにより、施工の品質向上を図った。

○中部地方整備局の「ICTアドバイザー」に認定され、多くの見学会や取材に対応し、ICT土工に関する研修・説明会への講師派遣を通じて、i-Constructionの普及促進に貢献した。